

第32回

定期演奏会

早稲田大学

弦楽セレナード

チャイコフスキイ

弦楽のための小組曲

ニールセン

弦楽のための協奏曲

ロータ

ムーアサイド組曲

ホルスト

ノルウェー民謡に

よる変奏曲

スヴェンセン

ラルゴ

ヘンデル

2017

12.24

sun

開場 17:30

開演 18:00

江東区文化センター

東西線東陽町駅より

徒歩 5 分

クラシック弦楽合奏団

Orchestra

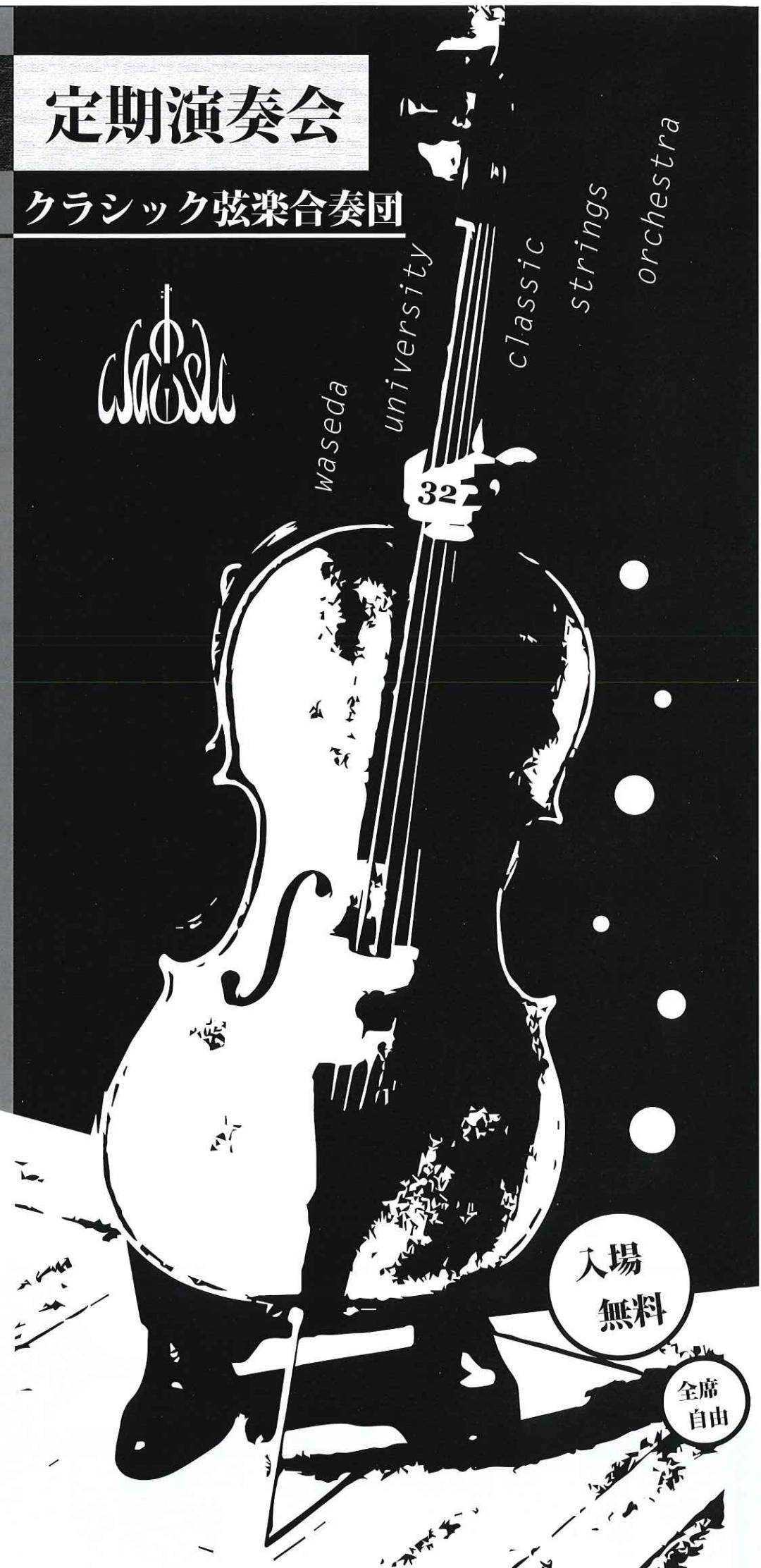
Strings
Classic

Waseda
University

32

入場
無料

全席
自由



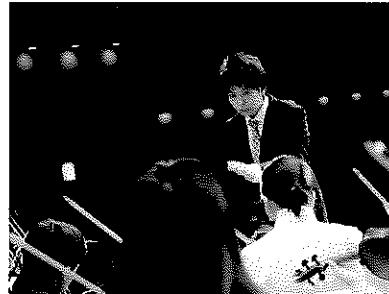
第32回定期演奏会

2017年12月24日

Violins

早稲田大学クラシック弦楽合奏団

早稲田大学クラシック弦楽合奏団は、プロの指揮者や指導者に頼らず、学生のみによって楽団運営から指揮、演奏まで行うことをモットーに2000年に設立された楽団で、現在は学内外から約100名の学生が集まって活動しています。「弦楽合奏の魅力を広く発信することを目指し、年二回(6月・12月)の定期演奏会はチケット不要で行い、学生や大学関係者のみならず、一般市民からも気軽に入りやすいコンサートとして好評です。」弦楽合奏とは、ヴァイオリンに代表される弦楽器のみで構成された弦楽団により奏される音楽であり、フルオーケストラにより演奏される有名作曲家の有名交響曲には隠れがちな、演奏機会の少ない、しかしながら魅力的で価値ある曲が、数多く存在します。そのような曲との出会いを求めるに、どうぞ当演奏会へお越しください。



弦楽セレナード P.チャイコフスキイ

チャイコフスキイ(1840-1893)はロシアの作曲家です。弦楽セレナードといえばまずこの曲を思い浮かべるのではないでしょうか。全楽章を通して長調でクラシックをあまり好まない人でも聴きやすい作りをしています。またその認知度とは裏腹に難易度の高い曲であります。

弦楽のための協奏曲 N.ロータ

ニーノ・ロータ(1911-1979)は『二十世紀のモーツアルト』と呼ばれたイタリアの作曲家です。『ゴッドファーザー』など数多くの映画音楽を手掛けた一方で、クラシックの世界でも活躍された人物です。この協奏曲ではロータが愛したオペラや、彼の遺した映画音楽の雰囲気が感じられる作品になっています。

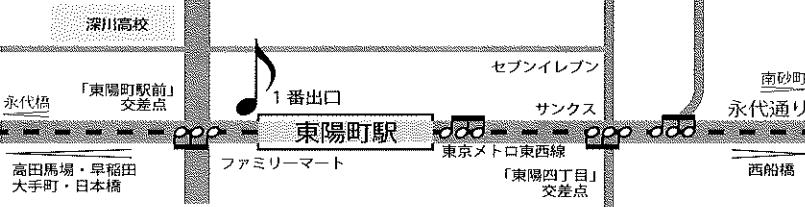
弦楽のための小組曲 C.ニールセン

カール・ニールセンは(1865-1931)デンマークの作曲家で、この曲は彼の作品で最初に出版されました。当時無名で若かった彼の名を一気に有名にした曲であり、北欧の音楽を感じさせながら、音の作り込みが古典派を思わせます。また、重厚な1楽章から華やかな終楽章への移り変わりが特徴です

ノルウェー民謡による変奏曲 J.スヴェンセン

ムーアサイド組曲 G.ホルスト
ラルゴ G.ヘンデル

Violas



江東区文化センター

東京メトロ東西線「東陽町」駅より徒歩5分

Cellos

早稲田大学 クラシック弦楽合奏団

Waseda University Classic Strings Orchestra

E-mail : kuragen432@gmail.com

Website : <http://kuragen.chips.jp>

@kuragenwaseda

Contrabasses